

実証事業の概要

1. 事業概要

2050 年カーボンニュートラルの実現に向けて、今後、再エネの普及が見込まれるなか、電力システムの柔軟性のさらなる向上が必要である。その課題に対し、需要家に設置される分散型エネルギーリソース（DER）を最大限活用することが期待されており、これら DER を監視・制御する環境を整備するため、次世代スマートメーターを活用した通信ルート構築の技術検証を 3 社協働で実施する。

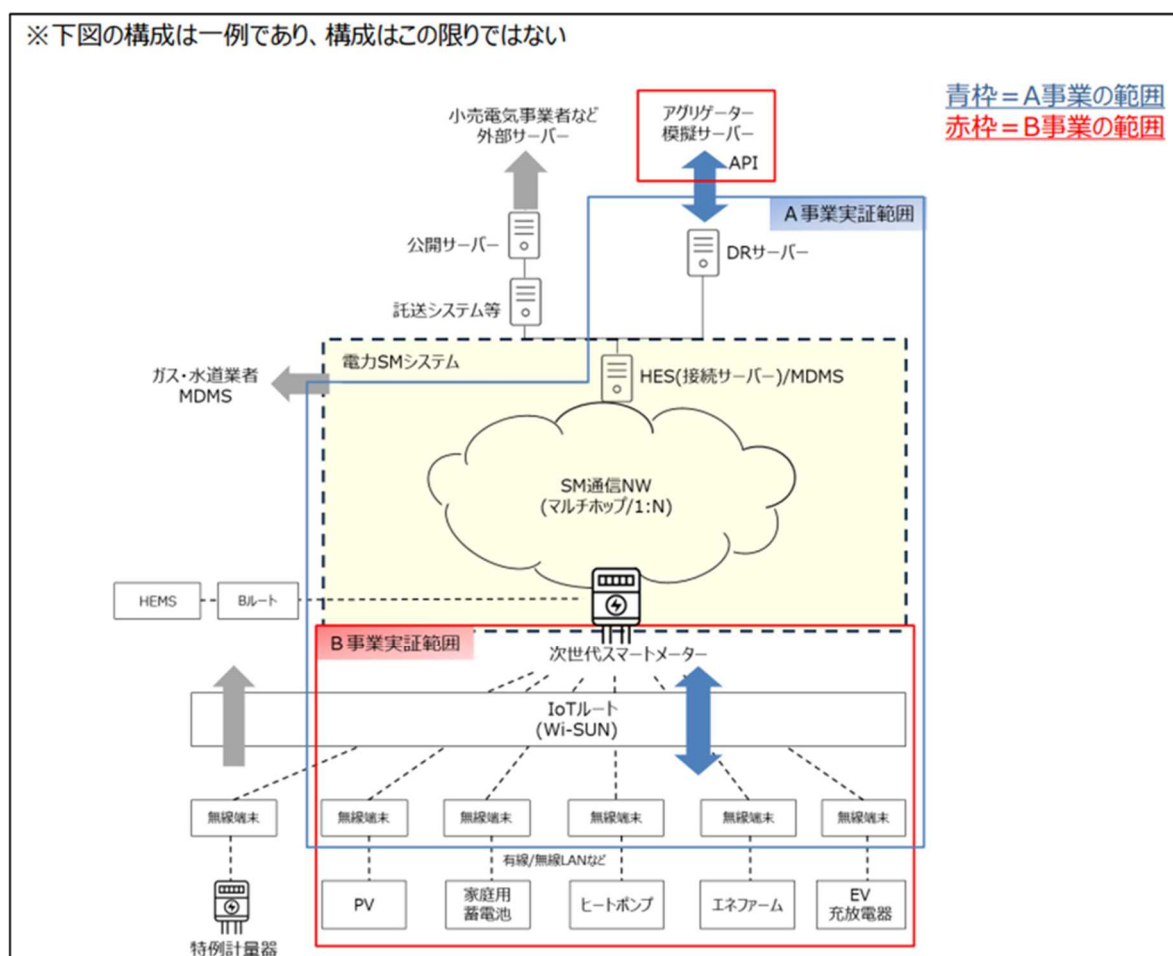
2. 実証期間

2025 年 7 月 10 日 ～ 2026 年 2 月 12 日（事業完了期限）

3. 実証内容

- ・ DR サーバー、無線端末のプロトタイプの開発
- ・ 技術面および運用面の課題の洗い出しと対策の検討
- ・ 小売事業者、アグリゲーター等へのサービス許容度の検証

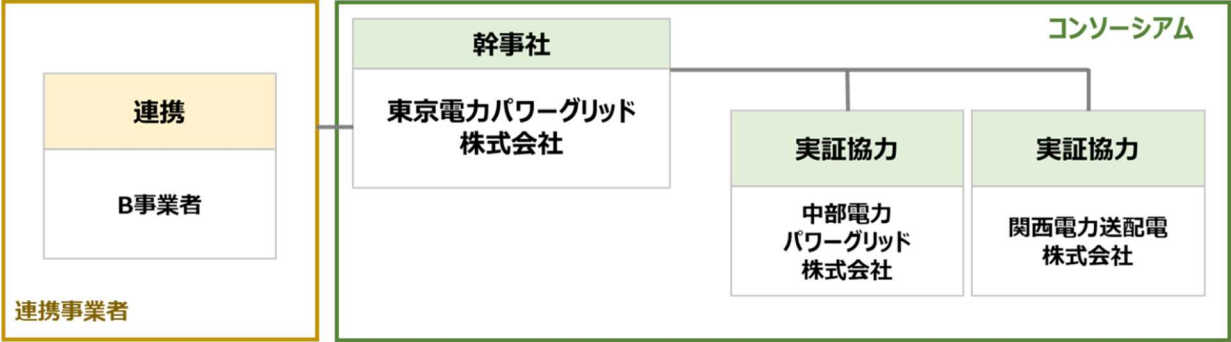
今回採択された事業は、下図、A 事業の範囲 ※下図は公募要領より抜粋



(参考：スマートメーターを活用したディマンドリスポンス実証事業 公募要領)

https://sii.or.jp/smartmeterjisshou06r/uploads/smamejisshou06r_kouboyouryou.pdf

4. 実証体制



5. 各社の役割

東京電力パワーグリッド株式会社 (コンソーシアムリーダー)	・ DR サーバーの要件定義、開発 ・ 無線端末の要件定義、開発 ・ DR サーバー・無線端末の動作環境構築、検証 ・ システムセキュリティ検証 ・ ユースケースおよび仕様検討
中部電力パワーグリッド株式会社 (コンソーシアムメンバー)	・ DR サーバーの要件定義検証 ・ 無線端末の要件定義、開発 ・ 無線端末の動作確認、検証 ・ ユースケースおよび仕様検討
関西電力送配電株式会社 (コンソーシアムメンバー)	・ ユースケースおよび仕様検討 ・ 上記検討に関する関連企業・業界団体との協議

以 上